

## 続けること、積み重ねること。 夢はそこから広がる

プロ野球志望からアーティスト転身という異色の経歴を持つ宮田悟志さん。

4月にはニューアルバムをリリース、その後全国ツアーを控える。

専大野球部時代は同級生のジャイアンツ・松本哲也元選手（現コーチ）、

ソフトバンク・長谷川勇也選手とともに活躍し、現在も交流が続く。

野球部時代に学んだもの、将来の夢について宮田さんにお話をうかがった。



ヴォーカリスト  
**宮田悟志さん**  
(平20・人文)

みやたさとし●1984年(昭和59年)生まれ。神奈川県川崎市出身。専修大学文学部人文学科環境地理学専攻卒。小学3年生から野球を始め、宮城・東北高校に野球留学、甲子園出場。専修大学硬式野球部にてプレー。2010年に開催された「EXILE Presents VOCAL BATTLE AUDITION 2〜夢を持った若者たちへ〜」を機に、11年ヴォーカルデュオ「BREATHE」としてメジャー・デビュー。16年よりソロ・ヴォーカリスト。17年7月よりフジテレビ系系列「ザ・ノンフィクション」6代目歌唱アーティストとして、エンディングテーマ曲「サンサーラ」担当。18年1月、ファーストアルバム「RISE」リリース。

「野球と歌」は意外に共通点があるな、と感じます。どちらも自然体で臨めば結果を出せる。不安でも、プレッシャーを感じても、「そこに立たないといけない」。そして、そこで「スイッチを入れる」。毎日同じことを続けるのは大変ですが、野球を通じて忍耐を身につけたのは、自分にとってかけがえのない学びです。

出身は川崎市宮前区、最寄り駅は向ヶ丘遊園でした。生田キャンパスは実家からすぐ近くにあったのですが、入った専修大学野球部の寮は伊勢原なので、学校まで1時間半くらいかかることに(笑)。毎日、大学の坂道を登り降りして通ったのがいい思い出です。

### 専大野球部の校歌練習で 秘めたる才能を発揮

大学1年の時、2年の先輩から部内の仕事をいろいろ教えてもらうのですが、校歌もそのひとつ。「宮田歌え!」と指名され、「はい!」と。

もともと歌が好きだったので、自信满满にビブラートをかけて唄ったら、先輩方が求めるクオリティを超えて、空気が変わってしまって(笑)。一緒に並んで聞いている同級生は、下を向いて笑いをこらえている状態でしたが、それからは、僕が校歌を教える担当になったんです。

野球部では、外野のポジションで2年次から代打で出場し、途中から守備につくことが多かったです。ジャイアンツに行った松本哲也君が同級生で、右ピッチャーの時はマツ(松本氏)が出て、左ピッチャーの時は僕が出る場合もありました。彼のほうが断然足は速いですけどね。

子供の頃からプロ野球を目指し、神奈川から宮城県の東北高校に野球留学して甲子園出場を果たせたものの、大学では4年の時に腰を痛めてしまい、思うようにプレーができず、悔しかったですね。卒業単位は取得しており、卒論を残すのみという状況でしたが、もう1年間頑張ろうと留年し、独立野



ニューアルバムを引っ下げ、全国12カ所でもアコースティックライブツアーを開催予定。また、夏には多田和也氏との公演も決定、「BREATHE」のハーモニーが復活する。詳細はHPまで。/博多ライブ時に長谷川勇也氏(左)と。

球リーグのセレクションを受けながら野球に打ち込みました。

当時、信越地方に独立リーグが新設立された時期で、その最終選考に残ったのですが、テスト当日、会場のメットライフドーム(埼玉県所沢市)へ横浜から車で向かう予定が、車を貸していた弟が朝になっても戻ってきません(笑)。なんとかギリギリのタイミングで出発したら事故渋滞が重なり、着くとノックが始まっていた。体育会系なので、遅刻した時点で終わりだと思いつつも、謝罪して試験を受けさせていただき、でも結果はやはり不合格。

この出来事で、「そういう運命なのだ」と、後悔なく野球を吹っ切ることができたと思っています。

大学を卒業し、アパレル会社に就職。それまで毎日野球に打ち込んでいたので、仕事だけではなく、何か集中できるものがほしいと思い、ボイストレーニングの学校に通い始めることにしたのです。高校と大学の野球部時代に「歌好きなやつ」という評価をもらっていたのも理由でした。高校では、文化祭と練習試合の日程がかぶったことがあって、顧問の先生が「試合はいいから文化祭で歌ってこい」と言ってくれたくらいですから(笑)。

そうして23〜24歳の頃、週1回ほど、楽しみながらボイストレーニングに通っていました。ミュージシャン・広瀬香美さんの学校です。そこで試し

に、香美さんのレッスンを受けられるオーディションを受験すると合格。その指導のなかで、自分の好きな歌を、というお題があったのでスティービー・ワンダーを唄ったのですが……。

「あなた気持ち入ってないわね、魂を感じない」と、ストレートに言われて。僕は趣味のつもりでやっていたから納得いかない気持ちもあったのですが、帰宅してから考えれば考えるほど徐々に気持ちに火がつき、「真剣にプロを目指したいです」と香美さんにメールを出し、そのタイミングで1年半勤めた企業を辞め、バイトをしながらレッスンを続ける決心をしたんです。

### 同級生がくれる勇気 自分も人の力になりたい

2010年、参加したオーディションで応募3万人から最終選考の10人に残ることができ、LDHという芸能事務所に所属するきっかけとなりました。久保田利伸さん、鈴木雅之さん、平井堅さんらを手掛ける、プロデューサーの松尾潔さんから声をかけていただき、ヴォーカルデュオ「BREATHE(ブリーズ)」として、11年にメジャー・デビュー。16年からはソロ・ヴォーカリストとなり、高校時代の同級生で友人でもあるヤクルトスワローズ・雄平の応援歌として僕の「RISE」という楽曲を提供し、彼の打席登場曲にも使われています。

最近是全国ツアーなどライブ活動のほか、ラジオのパーソナリティ、ナレーション、朗読劇に出させていただくなど、声のお仕事もさせていただいています。今年4月にはカバーアルバムをリリース予定で、その選曲を楽しみながら進めています。

デビューした時、お世話になったプロデューサーの松尾さんから「難しいのは、続けていくことだ。積み重ねていくことを大切に、ヴォーカリストとして60歳まで歌い続けてほしい」と言われました。しっかり地に足を付けて続ける、という姿勢は、野球でも培ってきた部分です。

専大野球部でチームメイトだった松本哲也君は、いま、ジャイアンツのコーチになっています。現役選手では同じく大学同級生の長谷川勇也君がソフトバンク、高校同級生の雄平君もヤクルトで続けています。同い年の仲間がプロの世界で野球を続けているのはすごいことだし、彼らのプレーや、時々交わす会話から勇気をもらっています。

野球を通じて得たもの、自分でしか表現できないものを、歌の世界でも生かしていこうと思っています。大きな夢としては、いつか、甲子園でライブをしたいですね。(談)



カバーアルバム「mariage(マリアージュ)」は、4月10日リリース。鈴木雅之や松田聖子、宇多田ヒカルらの名曲とセルフカバー、全8曲が入った

CDに、2月に行われたライブの様子を全6曲収録したDVDの2枚組。  
品番：R-2032221 ¥3,800(税込)  
購入方法：宮田悟志オフィシャルショップ  
<https://breathing.shopselect.net>

宮田悟志オフィシャルホームページ

宮田悟志

検索

<https://www.satoshimiyata.com/>